

近隣の自然の変化に目を向ける No. 51

「大輪の花が魅力のつる性植物クレマチスとアマリリス

Amaryllis and climbing plant Clematis with attractive flowers」

2021年6月15日

クレマチスとは蔓(つる)性植物の意味で、イギリスではバラ(キング)と並んで人気があり、蔓性植物の女王(クイーン)と呼ばれる。日本では蔓の伸び方から鉄線、6枚や8枚羽根の花弁から風車(かざぐるま)と呼ばれてきた(アルバムの最上段)。

バラと同様、数多くの園芸種がつくられ、特有の名が付けられている(写真の英語名)。

* 詳細は「湘南クレマチス園」参照。



<https://www.s-clematis.jp/mail-order/production-list/list-early/all-colors/shirayukihime.html>

興味深い種をいくつか取り上げると、

- ・ 'Doctor Ruppel'は、多くの種類のクレマチスを作ったラッペル博士が、赤紫のストライプが特徴的な傑作種に自身の名をつけられたと思われる。
- ・ '白雪姫'は、純白で上品な美しさが際立っている。
- ・ 'Princess Diana'(ダイアナ女王)は、清楚な4枚の花弁がユニークで、クレマチスがバラと同様イギリス人に愛されている事を示している。
- ・ リヨン市を意味する'Ville de Lyon'は花弁が6枚なので、別種(8枚の'Red pearl/赤真珠')かも知れない。
- ・ 壺形の花が特徴の2種のクレマチス:'integrifolia'は青い壺形の花で、つるを巻かない点が特徴。一方、赤い壺形の'texensis'は蔓性で、名は緋色に由来する。

アマリリスはギリシャ語で「輝かしい」という意味。花言葉は「誇り」。数100種類の園芸品種が知られているが、今年は3種見た。よくみかける真っ赤な「赤いライオン」、白色の花弁が特徴的な「クリスマスギフト」、赤いストライプのambiance(雰囲気)。どれも花弁がかなり大きく存在感がある。